

きらめく  
まちビト  
×  
高橋 終



昨年12月11日、EN-RAYホールで行われた「名寄市立大学吹奏楽団 第12回定期演奏会」で、吹奏楽団の中心となり、2年ぶりとなる演奏会を成功に納めた実行委員代表の高橋さんに、演奏会の感想や目標などについてインタビューしました。

コロナを言い訳にせず、やらずに後悔するならまずはやってみる

名寄市立大学吹奏楽団について

今年度は21人の新入団員を迎え、総勢50人でコロナ禍でもできる限りの活動を行い、8月に開催された「第60回名寄地区吹奏楽コンクール」では、金賞を受賞することができました。



▲定期演奏会のようす

コロナ禍での活動で苦労したことは？

感染防止対策のため、練習時間が1日2時間しか取れず、緊急事態宣言も重なり、サークル活動ができない状況もありました。そのため練習することも楽器にも触れない期間も続いたので、自分たちの思うような演奏を披露できなかった。のかなという不安がありました。

定期演奏会で特に力をいれたことは？

昨年度は定期演奏会が中止になったこともあり、来場される皆さんに楽しんでもらうことに力をいれました。吹奏楽の定番曲や流行歌を演奏したり、踊りを織り交ぜることで、聴いて観て楽しめる演奏会にできたと思います。今は無事に開催することができ、充実感を感じています。

コロナ禍での学生生活について

昨年度の入学から半年間はオンライン講義などで、家で1人の状況が続き、思い描いていた大学生活が送れず、モヤモヤした生活を送っていました。秋からサークル活動が再開し、高校で吹奏楽部に所属していたこともあり、名大吹奏楽団に入団しました。

これからの目標

コロナ禍以前は、地域の演奏会などと呼んでいた演奏会など、学内でコンサートを開催したりしていたので、今後はそのころのように、地域や学生の皆さんに演奏を聴いてもらい、こんなに楽しいよ、こういう活動をしていますよということをアピールしていきたい

市民の皆さまにひとこと

演奏会に来てもらった皆さんに感謝しています。いろいろな方から「良かったよ」「楽しかった」「もっと聴きたかった」とたくさんの感想をいただけ、これからの活動の励みになりました。名大吹奏楽団に演奏してほしいなど依頼がありましたら、ぜひ問い合わせください。名大吹奏楽団と一緒に名寄を盛り上げましょう。



▲名寄市立大学吹奏楽団の活動はInstagramで随時更新中です

Profile

高橋 終 (たかはし しゅう)

平成13年12月生まれ、旭川市出身。令和2年に名寄市立大学社会福祉学科に進学、現在2年生で名大吹奏楽団ではパーカッション担当。大学自治会にも所属。趣味は旅行で、道の駅を巡りたいがコロナの影響により現在は自粛している。冬の風物詩・おでんの具ははんぺんが好き。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。